業務用OCRソフトウェア
DynaEye 10 帳票OCR Entry
ご紹介

株式会社PFU

2023年4月

SP-R0504

©PFU Limited 2023

背景

働き方改革において、**労働力不足解消**が重要なテーマ

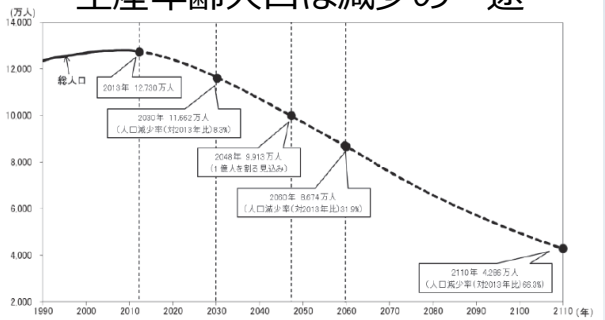
生産性向上・業務効率化の取組み

RPAを活用して
業務効率化したい

紙帳票からのデータ入力
を省力化したい

紙帳票を扱う業務の効率化・ペーパーレス化

生産年齢人口は減少の一途



※ 引用：内閣府「選択する未来-人口推計から見えてくる未来像-」

前処理 → **データエントリ**



各部署から集まってくる
書類の仕分けが大変



月末、月初の大量の
データエントリで残業



チェックミスや確認モレで
作業のやり直し

手間も時間もかかる「書類を見ながら入力作業」をなくしたい

RPA

**定型作業の
自動化**



「DynaEye 10」 が解決します

©PFU Limited 2023

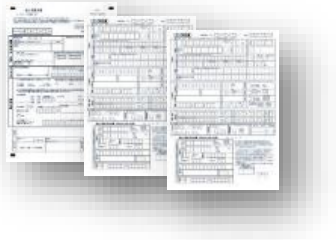
DynaEye 10 とは

©PFU Limited 2023

DynaEye 10 とは

OCRパッケージソフトウェア 国内シェアNo.1 ※

高精度な文字認識で 業務効率化を実現するOCRソフトウェア



■ 帳票のデータ入力業務の効率化を実現

活字・手書き文字からバーコードまで高精度にデータ化

1997年の販売開始以来、累計7,700社以上のご利用実績があります。

自 治 体	介護保険の調査票や意見書など	金　融	営業店窓口でのOCR入力など
文　教	授業アンケートなど	医　療	問診票、検査書など
流　通	ギフト、通販注文書など	保　険	契約書、各種申請書など

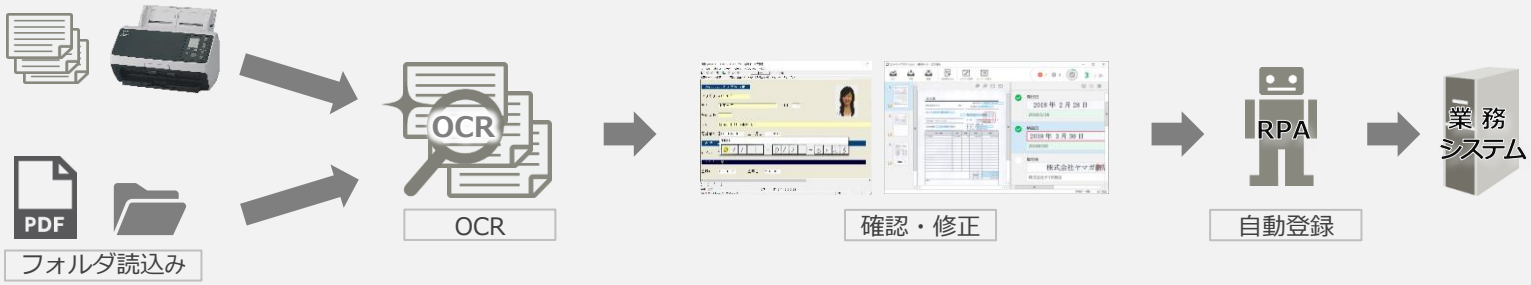
その他、様々な業種・業務に適用可能

※「DynaEyeシリーズ」を対象とする、富士キメラ総研「ソフトビジネス新市場2022年度版」<2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）>（提供形態：パッケージソフトウェア）の日本国内における集計に基づく。

©PFU Limited 2023

DynaEye 10 帳票OCR Entry

入力業務の担当者がかんたんに利用できるOCRソフトウェア製品



■ 用途に合わせて選べる2種類のアプリケーションを搭載 ■

標準アプリケーション

- 帳票レイアウトごとに**きめ細かいOCR設定**
- **レイアウト変更可能**な確認・修正画面
- **幅広い文字種**に対応



エントリーアプリケーション

- キーワード登録で**簡単OCR設定**
- **シンプル**で使いやすい確認・修正画面
- 対応文字種は**活字のみ**



OCR機能を業務システムに組み込むためのSDK／ランタイム／サーバーランタイムもご用意しております。

©PFU Limited 2023

アプリケーションの選択

スタート

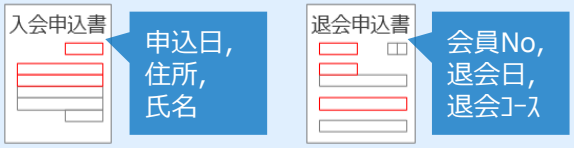
手書き文字や**バーコード**等を認識したい？

YES

NO（活字のみ）

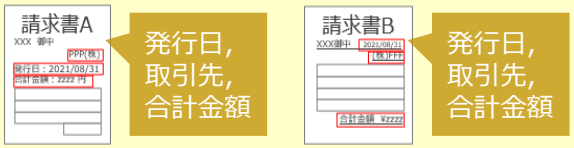
対象帳票はどちらのパターン？

A：帳票レイアウトごとにOCR項目が異なる



A

B：帳票レイアウトが異なるがOCR項目は共通



B

認識精度重視　or　導入の**手軽さ**重視？

精度重視

手軽さ重視

標準アプリケーション

幅広い文字種に対応し、AIを使った文字認識技術で**手書き文字**を高精度に認識

帳票レイアウトごとの詳細なOCR設定

エントリーアプリケーション

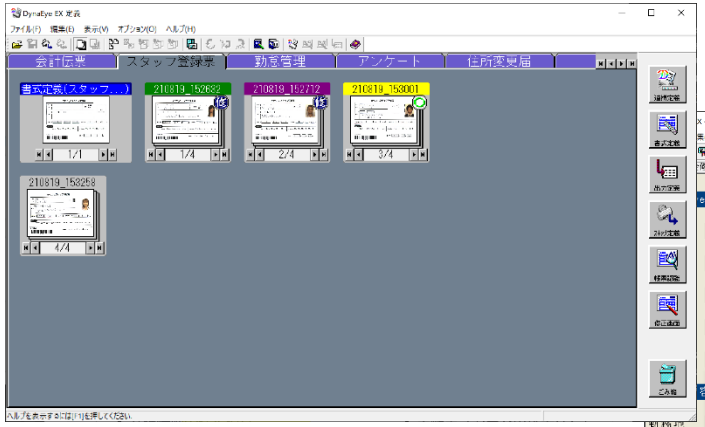
帳票パターンごとに共通のキーワード登録で個々の帳票を簡単OCR設定

©PFU Limited 2023

DynaEye 10 帳票OCR Entry
標準アプリケーション

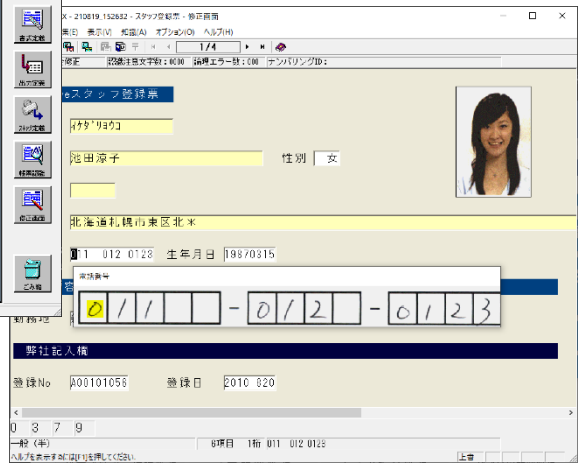
©PFU Limited 2023

手書き文字や活字、バーコードなど高速・高精度に文字認識



(メイン画面)

(確認・修正画面)



きめ細かいOCR設定で高い読取り精度を実現

レイアウト変更可能な確認・修正画面

幅広い文字種に対応

■ 活用シーン

製造業	流通業	自治体	医療	業種共通
検査成績書の確認業務	顧客管理業務	申請書受付業務	検診結果管理業務	アンケート結果分析業務

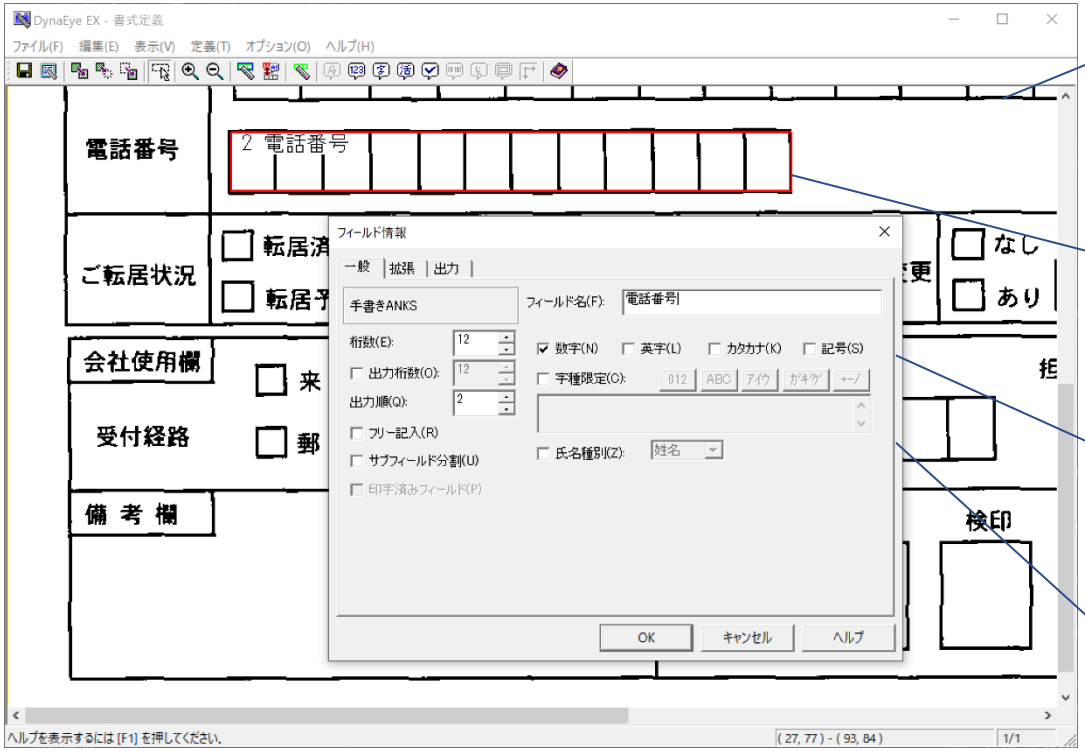
©PFU Limited 2023

特長１ きめ細かいOCR設定で高い読取り精度を実現

標　準
ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ

PFU

■ 帳票レイアウトごと、項目ごとに文字種、フォント、字間、知識処理の有無などの詳細なOCR設定が可能



① 未記入の帳票イメージを用意

OCR設定には未記入の帳票イメージを使います。

② 読取り領域の指定

OCRする領域をマウスで囲みます。

③ 項目属性の設定

手書き、活字などの属性を設定します。

④ 文字情報の設定

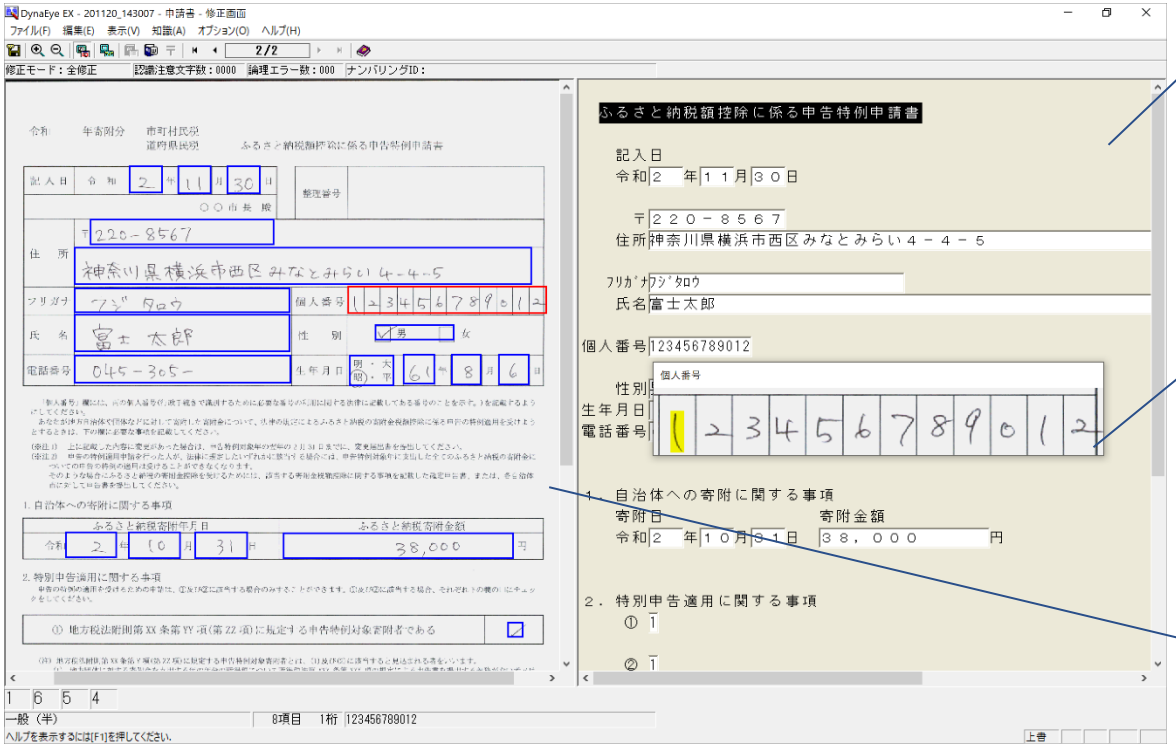
文字種、文字数などを設定します。

©PFU Limited 2023

特長２レイアウト変更可能な確認・修正画面

標準アプリケーション

■ マウス操作で担当者が使いやすい画面レイアウトに変更可能



業務に適したレイアウトに変更可能

OCR設定の位置情報を参照した自動レイアウト作成や、マウス操作でのレイアウト修正、ラベルの追加等が可能です。

フィールドイメージ表示

OCR項目の切り出しイメージを表示します。ON/OFFの切り替えが可能です。

帳票イメージ表示

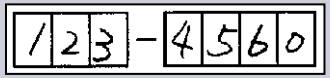
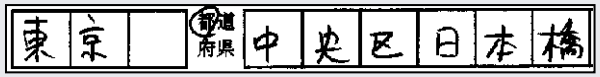
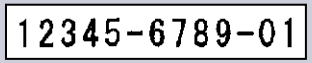
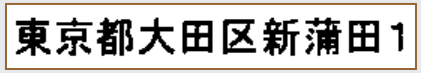
帳票イメージを表示します。ON/OFF切り替え、表示位置変更が可能です。

©PFU Limited 2023

特長３ 幅広い文字種に対応

標　準
ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ

■ 手書き文字や活字、バーコードなど帳票に用いられる様々な文字種に対応

項　目		認識率
手書き数字		約**99**%
手書き日本語 （住所や氏名の項目単位）		約**90**%
活字英数字 （フォント指定）		約**99.9**%
活字日本語 （項目単位）		約**95**%
手書きマーク		ほぼ**100**%
QRコード・バーコード		ほぼ**100**%

※ 認識率は当社調べによるものです。認識率は、帳票の状態、文字の記入状況、印字の鮮明さなどにより大きく変わる場合がありますのでご留意ください。

©PFU Limited 2023

「標準アプリケーション」用 オプション製品

DynaEye 10 帳票OCR Entry
AI日本語手書きOCRオプション ※1

※1：「Human Centric AI Zinrai」の手書き文字認識技術を組み込んだ、フリーピッチ日本語手書き用OCRオプション製品です。
「標準アプリケーション」でご利用いただけます。

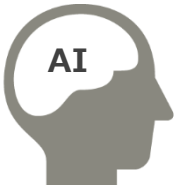
©PFU Limited 2023

AIで日本語手書き文字も高速・高精度に認識

標　準
ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ

PFU

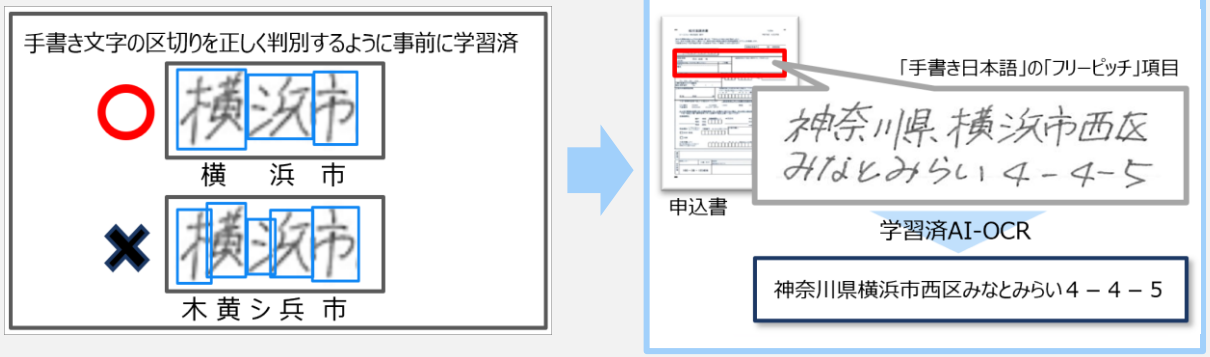
DynaEye 10 powered by “Zinrai”



AI技術である **“Deep Learning”** によって実装されたOCRエンジン

フリーピッチ手書き文字列を高精度に認識

- フリーピッチ手書き文字列を正しく判別するように事前に学習済み
- 住所や人名などの言語モデルを用いて解析し補正



パソコン上で高速に文字認識

- GPU（Graphics Processing Unit）を利用することなく、GPU搭載のPCと同等の高速認識

機微情報を取り扱う業務にも安心して利用可能

- 文字認識処理をオンプレミスのPC上で行うため、社外にデータを流さず情報漏洩の心配なし

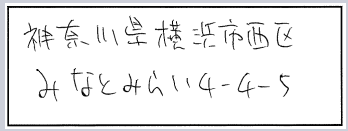
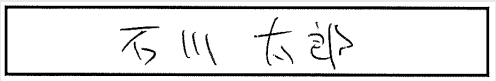
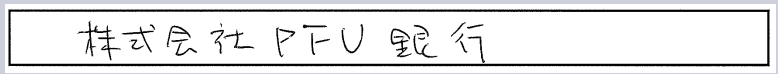
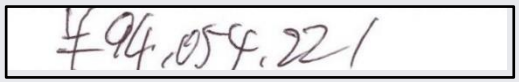
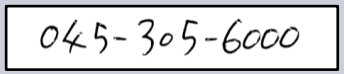
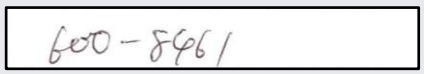
※ お客様の運用中のデータで学習・認識精度向上を行うものではありません。
※ 弊社専門技術者にて学習作業を行い、製品のアップデート版にて認識精度が向上したOCRエンジンをご提供します。

「Zinrai」は「知覚・認識」や、「知識化」、「判断・支援」、そしてそれらを高度化し成長させる「学習」などのAIに関する研究開発の結果である技術やノウハウを結集し、「Human Centric AI Zinrai（ジンライ）」として体系化したものです。

©PFU Limited 2023

フリーピッチ手書き文字の認識率

■ 住所、氏名、会社名、金額、電話番号、郵便番号などのフリーピッチ手書き項目も高精度に認識

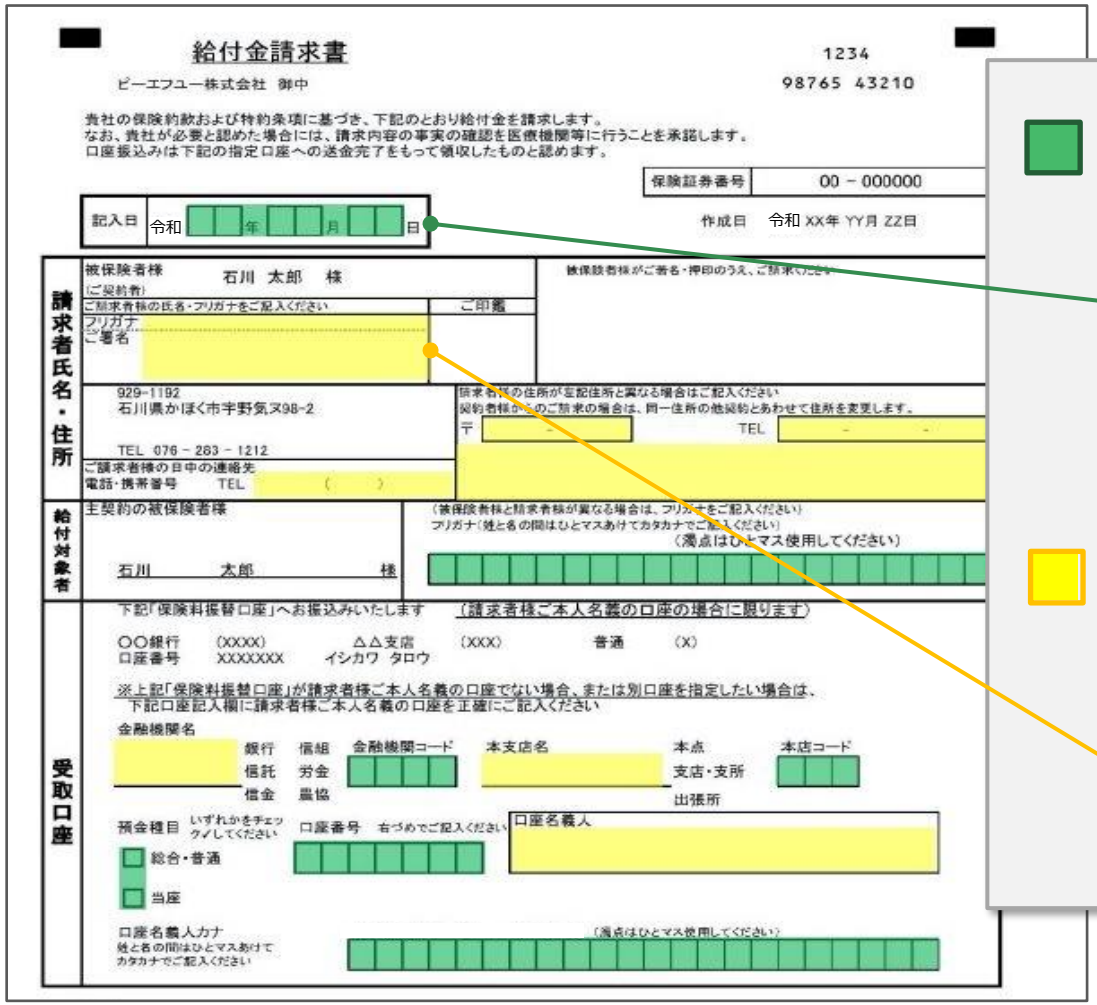
項　目		認識率
住　所		99.3%
氏　名		97.3%
会社名		97.8%
金　額		98.5%
電話番号		98.6%
郵便番号		98.7%

※ 認識率は当社調べによるものです。認識率は、帳票の状態、文字の記入状況、印字の鮮明さなどにより大きく変わる場合がありますのでご留意ください。

©PFU Limited 2023

OCR読み取り範囲が拡大

■ 格子状の記入項目も、フリーピッチの記入項目も、まとめて一度に高精度に認識



従来からの読み取り可能範囲（手書き）

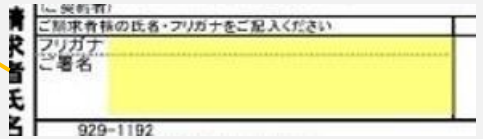
<例> 以下のような格子状の記入項目（1文字ずつ記入）



＋

「AI日本語手書きOCRオプション」により読み取り可能となる範囲

<例> 以下のようなフリーピッチの記入項目



©PFU Limited 2023

AI日本語手書きOCRオプションの強み

標　準
ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ

PFU

1	レスポンス	クラウド型のAI-OCR製品とは異なり、Upload等の操作が不要のためレスポンスが早い。
2	料金体系	枚数制限なし。買取／サブスクリプション（年額）で使い放題。
3	動作環境	GPU不要。お手持ちのPCですぐ使える。 ※GPU（Graphics Processing Unit）：CPUより高速に処理できる演算装置。 ※GPUにかかる費用は、20万～420万と高額。
4	セキュリティ	インターネット接続不要のオンプレ型製品のため、個人情報や機微情報の漏えいの心配なし。

©PFU Limited 2023

活用シーン①　製造業　検査成績書の確認業務

標準アプリケーション

【導入のポイント】
二人体制の確認作業をOCRにより一人で作業でき、さらに確認漏れも解消

業務内容

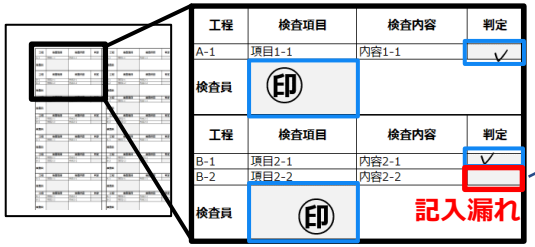
製品の各種検査を実施し検査成績書に記入。検査漏れ(記入漏れ)が無いかを確認後に製品を出荷。
確認する項目が非常に多いため、人の作業では確認漏れが発生していた。



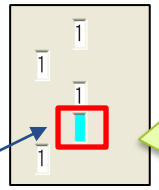
検査成績書へ記入　→　スキャン・文字認識　→　修正画面を確認　→　製品出荷

帳票例

検査成績書



（修正画面例）



論理エラー

記入漏れ(空白)は
論理エラーとして
表示できるので、
一目で確認可能

確認項目が多くても
1ページ960項目まで
設定できるので、
漏れなくチェック

©PFU Limited 2023

活用シーン②　流通業(小売)　顧客管理業務

標準アプリケーション

【導入のポイント】
住所などのフリーピッチ手書き文字を高精度にデータ化でき、入力作業が効率化

業務内容

ポイントカード会員の入会申込処理。
各店舗で会員申込を行い、会員カードを発行。センターに入会申込書が届き、業務システムにデータ入力。

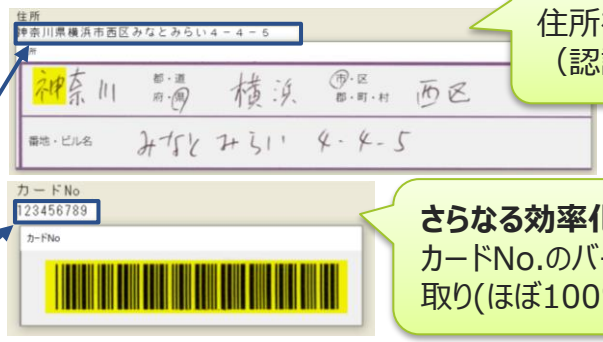


帳票例

入会申込書



（修正画面例）



住所をAI-OCRにより高精度に認識
（認識率99.3%：当社調べ）

さらなる効率化
カードNo.のバーコードシールを貼って読み取り(ほぼ100%)。店舗での記入は不要。

©PFU Limited 2023

活用シーン③　自治体　申請書受付業務

標　準
ｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ

PFU

【導入のポイント】
帳票が多くても、1ページ目の認識が終わるとすぐに確認でき、待ち時間が不要

業務内容　給付金申請書の受付業務。他の部署にも、申請書の受付業務は多い。



給付金申請　　スキャン・文字認識　　確認・修正

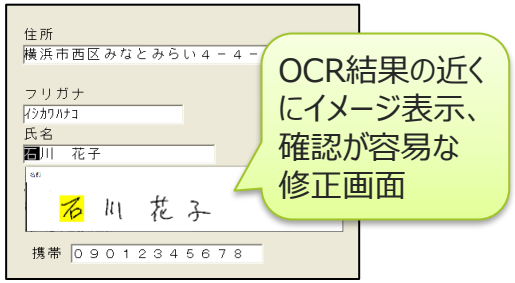
※共用のスキャナーとPCを準備すれば、複数部署で利用可能です。

帳票例

給付金申請書



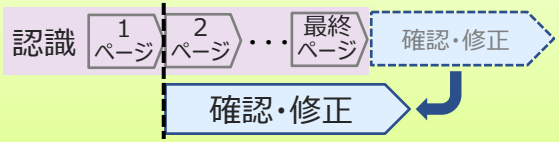
（修正画面例）



OCR結果の近くにイメージ表示、確認が容易な修正画面

認識&確認修正機能

1ページの認識が終わると、
最終ページの認識まで待たずに
OCR結果の確認・修正が可能



©PFU Limited 2023

活用シーン④　医療　健診結果管理業務

標準アプリケーション

【導入のポイント】
他社の高価なハードOCRから安価にリプレース、用紙変更も不要で導入可能

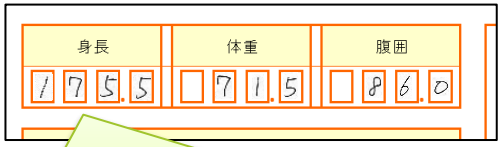
業務内容　健康診断の問診票や受診票に記入、健診後に回収し業務システムにデータ入力。



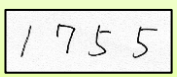
健康診断受診　受診結果の回収　スキャン・文字認識　確認・修正

帳票例

健康診断受診票



赤色の文字枠はドロップアウト、
黒色で記入した文字だけを
イメージ化し、高精度に認識



健康診断問診票



手書きマーク欄として
読み取ることで、
記入ありなしを判定

©PFU Limited 2023

活用シーン⑤　業種共通 アンケート結果分析業務

標準 アプリケーション

【導入のポイント】
アンケートの自由記入欄も高精度に読み取れ、入力作業が大幅短縮

業務内容

来店したお客様にアンケート用紙を配布、記入、回収。アンケート結果を入力し、結果を分析する。
店舗、美術館・博物館、病院、イベント会場など、お客様が訪れるところが対象。



アンケート記入・回収



スキャン・文字認識

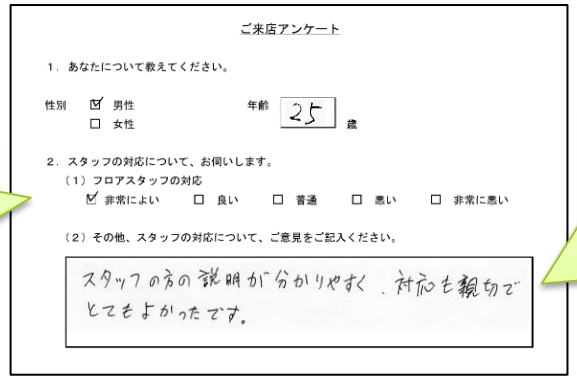


確認・修正

データ分析に活用

帳票例

アンケート用紙



ご来店アンケート

1．あなたについて教えてください。

性別　☑ 男性　☐ 女性　　年齢　25 歳

2．スタッフの対応について、お伺いします。

（1）フロアスタッフの対応

☑ 非常によい　☐ 良い　☐ 普通　☐ 悪い　☐ 非常に悪い

（2）その他、スタッフの対応について、ご意見をご記入ください。

スタッフの方の説明が分かりやすく、対応も親切でとてもよかったです。

チェック欄は高精度に読み取り可能

AI-OCRなら自由記入欄も読める！

OCRが困難だった自由記入欄を高精度に読み取り、複数行に書かれても自動判別

©PFU Limited 2023

DynaEye 10 帳票OCR Entry
エントリーアプリケーション

©PFU Limited 2023

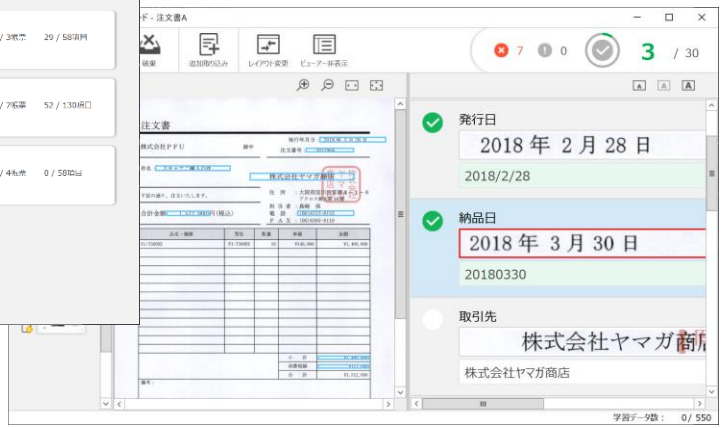
エントリーアプリケーション

取引先によりレイアウトが異なる“請求書／注文書／納品書”を手軽に読み取る



(メイン画面)

(確認・修正画面)



キーワード検索による
簡 単 O C R 設 定

シンプルで見やすい
確 認 ・ 修 正 画 面

■ 活用シーン

営 業 部 門
受 注 業 務

購 買 部 門
納品・検収業務

経 理 部 門
支 払 業 務

©PFU Limited 2023

特長１ キーワード検索による簡単OCR設定

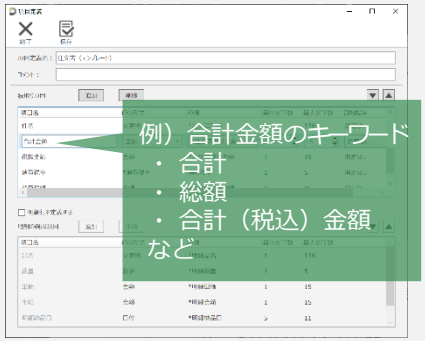
エントリー アプリケーション PFU

■ OCR対象の項目名をキーワード登録することで読取り位置を推定

■ 事前準備により、１帳票あたり３STEPで簡単にOCR設定完了

事前準備

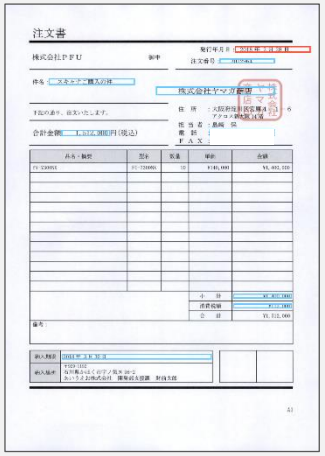
帳票ごとに異なる項目名をキーワードとして登録



※ 請求書／注文書／納品書は各帳票の項目名をキーワード登録したテンプレートを標準搭載。
※ テンプレートはカスタマイズ可能。

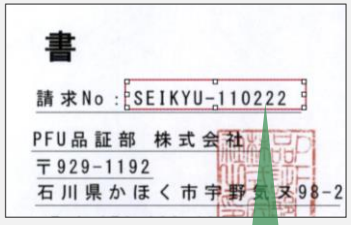
STEP 1

キーワードを検索して読取り位置を推定



STEP 2

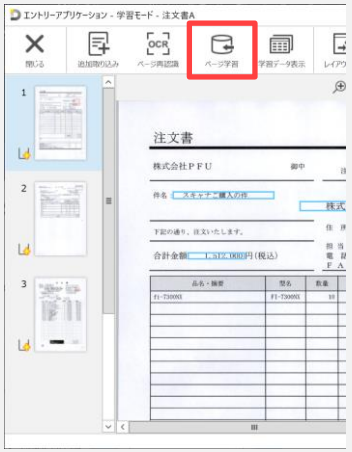
読取り位置の確認・修正



マウス操作で正しい位置に修正

STEP 3

レイアウト学習（OCR設定の保存）

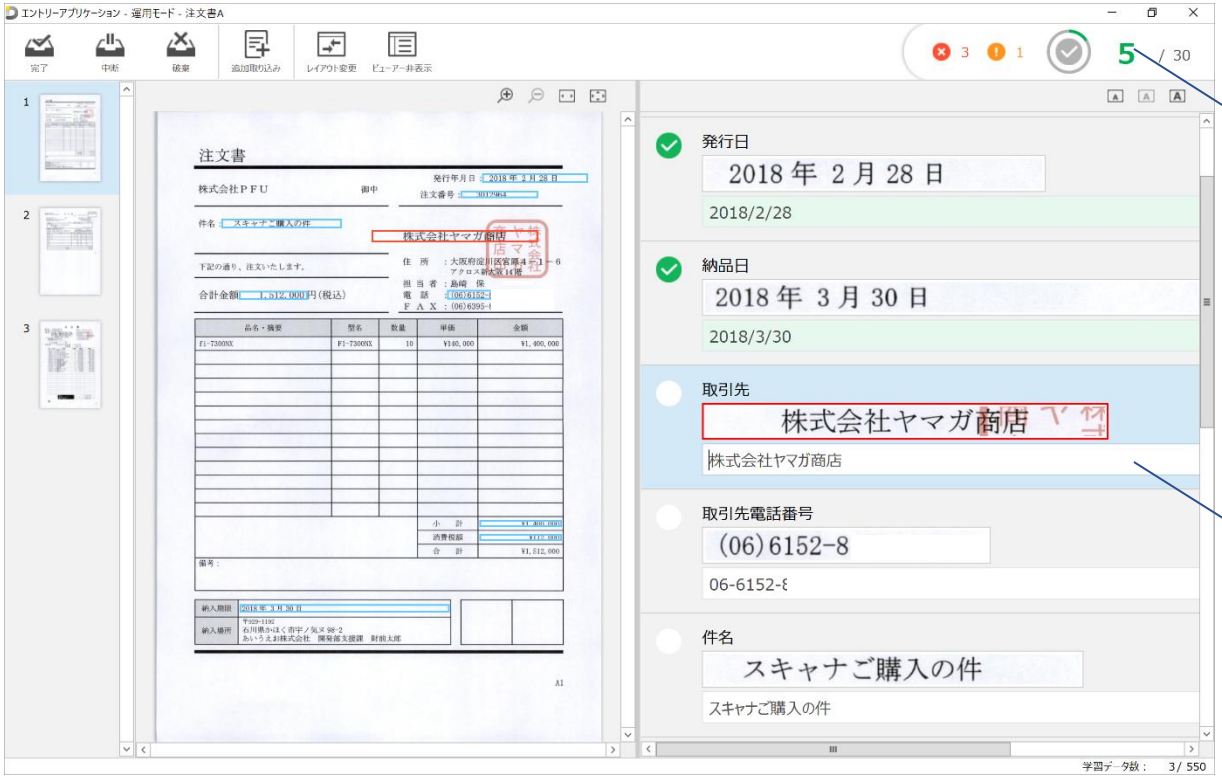


STEP１～STEP３を帳票レイアウトの数だけ実施

©PFU Limited 2023

特長２ シンプルで見やすい確認・修正画面

■ わかりやすい確認・修正画面で使いやすい



進捗リング

確認、修正の進捗状況がひと目で分かります。

●エラー　●警告　●確認済み

修正画面

視線の移動量を最小に抑えた画面設計で確認・修正担当者の負荷を軽減します。

©PFU Limited 2023

活用シーン　サービス業　請求書入力業務

エントリーアプリケーション PFU

【導入のポイント】
簡単OCR設定で請求書追加も担当者が対応可能。

業務内容

取引先や各店舗から本社に届く大量の請求書を業務システムに手入力。
処理枚数が多く、手入力やデータチェック作業に多大な工数がかかっていた。



取引先・各店舗から請求書が送付　→　スキャン・文字認識　→　確認・修正　→　業務システム　→　支払い

帳票例

請求書

導入時には数種類の請求書に対してOCR設定を実施。
操作が簡単なので、新しい取引先の請求書も担当者がOCR設定可能。



精度が高く、システム入力に必要な項目に限定してOCR

：OCR項目

©PFU Limited 2023

DynaEye 10 帳票OCR Entry
導入事例

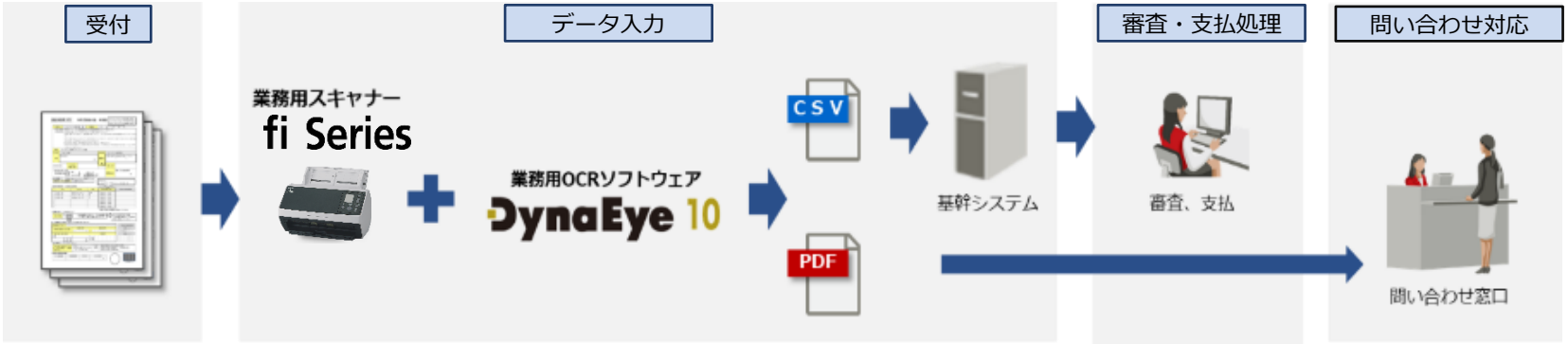
©PFU Limited 2023

事例：石川県河北郡津幡町役場 様

１日2600件以上の「特別定額給付金」申請を1台でその日のうちに処理

◆方法

申請書をスキャナーの高速読み取り･給紙機構とOCRソフトウェアの高精度の文字認識機能を使い、
正確にデータを読み取る



◆効果

- ✓ 担当自身が読み取り設定を変更できる、わかりやすい設定画面で申請書様式変更に素早く対応
- ✓ ピーク時１日約2600件の申請を１台で受付当日に支払処理を実現
- ✓ 住民からの問い合わせにもpdfファイルをすぐに見つけ出すことができ、問い合わせ業務が軽減

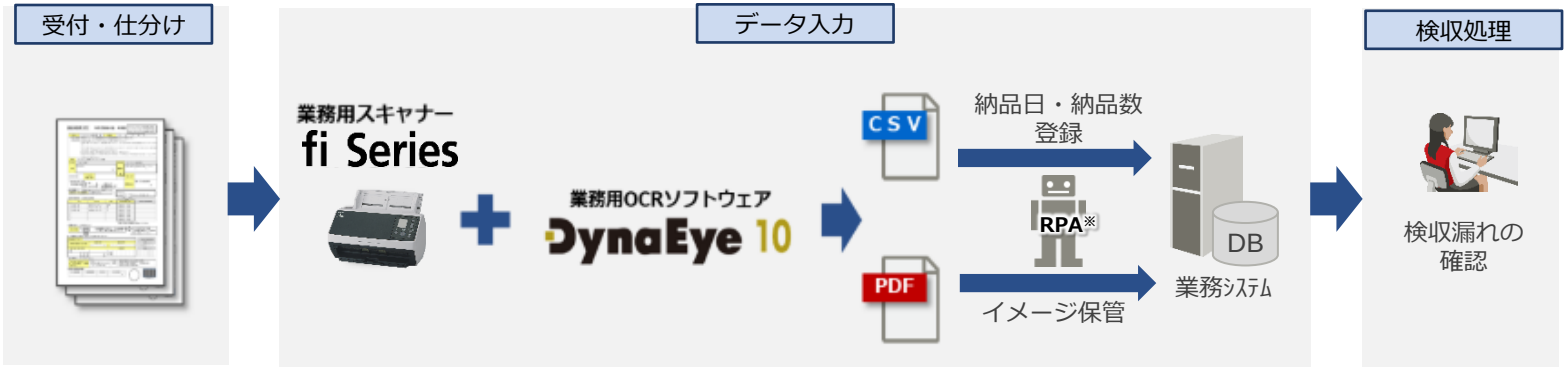
©PFU Limited 2023

PFU社内実践例：購買部 納品確認業務

OCRとRPA※を活用し、納品確認業務の業務効率化を実現

◆方法

納品書をスキャナーの高速読み取り・給紙機構とOCRソフトウェアの高精度の文字認識機能を使いデータ化し、RPAにより業務システムに情報を自動登録



◆効果

- ✓ OCRによる納品書等の情報をデジタル化、ヒトの経験値に依存せず内容確認と修正のみ
- ✓ 確認修正後は、RPAにより業務システムに情報を自動登録。業務効率化と信頼向上を実現

3人月/年の効果

※ RPAは別途お客様で用意頂く必要があります。

©PFU Limited 2023

導入実績



納品書や検収書のデータ入力作業にかかる担当者の作業負担を減らし、残業時間を削減することができます。



注文書のオーダーエントリーが早くなり、顧客訪問率の向上やサービス向上に役立てることができます。



期末や月末に増える請求処理を省力化でき、担当者の負荷や人的ミスを軽減することができます。

ご利用実績 累計7700社以上

DynaEye導入実績

業種共通	アンケート用紙、振替伝票、勤怠表、ユーザ登録はがき、注文書、納品書、請求書
自治体・公共	給付金申請書、臨床調査個人票、税・公共料金納付書、ガス・水道料金検針票、介護認定調査票
金融	保険契約申込書、住所変更届
流通・製造	検査成績書、入会申込書、仕入伝票、出荷伝票、売上日報、棚卸票、検収書、生産指示書
文教	成績報告書、健康診断カード、進路指導調査票、個人調査カード、資料請求はがき
医療・福祉	健康診断問診票、初診申込書、検査依頼書、訪問介護実施記録、介護アセスメント票
情報出版	雑誌綴込みはがき、資料請求はがき
農林・水産	荷受伝票、出荷予約票、トレーサビリティ用栽培記録シート

©PFU Limited 2023

OCR評価 ～ 導入 ～ 運用

©PFU Limited 2023

OCR評価～導入の流れ

■ 御社の帳票でOCR検証してみませんか？

お客様で評価する場合

お客様	PFU
無償評価版 Web申し込み	
	無償評価版 ダウンロードページ通知
ダウンロード・インストール	
評価利用（60日間） ・OCR認識精度の確認 ・各種設定方法の確認 ・確認・修正画面の操作性 等	PFUでは以下の支援を行います。 ・ 基本操作の学習動画提供 ・ サンプル帳票提供 ・ ハンズオンセミナー

PFUで評価する場合

お客様	PFU
対象帳票選定、 サンプル帳票等提供	
	無償事前検証 ・2帳票、各帳票20項目、 10ページまで
	評価結果ご報告
お客様にて結果の確認	

無償事前検証

お客様の定型帳票を対象に、OCRの読み取り、簡易な評価結果を報告いたします。提供物は下記2点となります。

- ●OCR結果の確認修正画面ハードコピーにコメントを付加したもの
- ●OCR結果CSVファイル

©PFU Limited 2023

導入～運用の流れ

■ OCR定義作成および事前検証（導入）を行ってから、運用を開始します。

		① 導入	② 運用
利用ユーザー		情報システム部門（管理者）	オペレーター
作業内容	標準アプリ	「定義画面」でOCR定義を作成 1．書式定義作成（帳票レイアウト毎） 2．修正画面定義作成 3．出力定義、スキャナ定義、連携定義の設定 4．事前検証(テスト読取/書式定義修正) 5．キャビネットを運用環境にエクスポート	「運用画面」から業務を開始 1．帳票の取り込み＆OCR 2．OCR結果の確認修正 3．CSVファイル出力
	エントリーアプリ	エントリー業務に必要な設定を作成 1．テンプレートの選択 2．項目定義作成（帳票種毎） 3．エントリープロファイルの設定 4．事前検証(テスト読取/学習データ作成) 5．プロファイルを運用環境にエクスポート	クイックスタート画面から業務を開始 1．帳票の取り込み＆OCR 2．OCR結果の確認修正 3．CSVファイル出力

©PFU Limited 2023

関連製品

AI-OCR スタートアップサービス

※DynaEye 10 帳票OCR Entry(標準アプリケーション)用の、関連製品です。

©PFU Limited 2023

AI-OCR スタートアップサービス

OCRソフトウェアの導入に不安のあるお客様も、安心して導入頂けるよう、8つのサービスをご用意。
必要に応じて、サービスを自由に選択頂けます。

選べるサービスメニュー

帳票簡易診断
定型帳票のOCR精度を検証、検証用書式定義を作成

帳票定義
帳票定義の作成

帳票設計診断
帳票設計（レイアウト）を診断し、変更をアドバイス

帳票定義トレーニング
DynaEyeの帳票定義作成のトレーニング

OCR環境セットアップ
OCR環境セットアップ（検証環境、本番環境）を支援

導入トレーニング
DynaEyeの運用方法のトレーニング

テクニカルサポート
※サーバ版は必須

DynaEye導入環境、帳票定義に関するQA対応

新型コロナワクチン接種予診票向け帳票定義
予診票、接種券を対象に書式定義、スキャン設定、認識データ出力を設定

©PFU Limited 2023





DynaEyeは、日本国内における株式会社 PFU の登録商標です。
その他の社名、製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。
記載している社名、製品名などには、必ずしも商標表示（®、™）を付記しておりません。

©PFU Limited 2023

（付録）

DynaEye 10 帳票OCR Entry

- 製品体系とサポート
- 動作環境・仕様

©PFU Limited 2023

製品体系（DynaEye 10 帳票OCR Entry）

■OCRソフトウェア製品、メディアパック製品

製品名	旧製品	概要	ライセンス
DynaEye 10 帳票OCR Entry	DynaEye EX Lite V5.0 ※1	データエントリー向けアプリケーションです。 1端末につき、1ライセンス必要です。 サブスクリプションライセンスの場合、インストールには別途メディアパックが必要です。	買い取り、 サブスクリプションライセンス
DynaEye 10 帳票OCR Entry AI日本語手書きOCRオプション	–	「標準アプリケーション」で利用できる、フリーピッチ手書き文字の認識精度を向上する製品です。 1端末につき、1ライセンス必要です。 サブスクリプションライセンスの場合、インストールには別途メディアパックが必要です。	買い取り、 サブスクリプションライセンス
DynaEye 10 帳票OCR Entry メディアパック	–	インストール用媒体です。	–
DynaEye 10 帳票OCR AI日本語手書きOCRオプション メディアパック	–	インストール用媒体です。	–

※1：旧製品からの移行パス（マイグレーションキット）も用意しています。
※2：「買取」は別途サポートパッケージの購入が必要です。「サブスクリプションライセンス」は年額使用料、サポートサービス付です。

■サポートパッケージ

製品名	概要
DynaEye 10 帳票OCR Entry サポートパッケージ	買取製品向け ・アンサーサービス（仕様などのお問い合わせをE-mailにて回答） ・無償レベルアップサービス ・バージョンアップキット優待価格購入権
DynaEye 10 帳票OCR Entry AI日本語手書きOCRオプション サポートパッケージ	

©PFU Limited 2023

動作環境（帳票OCR Entry、AI日本語手書きOCRオプション）

	DynaEye 10 帳票OCR Entry	DynaEye 10 帳票OCR Entry AI日本語手書きOCRオプション
OS ※1 ※2 ※8	Windows® 10 Pro/Enterprise バージョン 1703以降 Windows® 10 Enterprise LTSC 2019 Windows® 10 Enterprise LTSC 2021 Windows® 11 Pro/Enterprise ※ ARMベースのWindows® PCでは動作いたしません。	Windows® 10 Pro/Enterprise バージョン1703以降 (64bit版) Windows® 10 Enterprise LTSC 2019 (64bit版) Windows® 10 Enterprise LTSC 2021 (64bit版) Windows® 11 Pro/Enterprise※9 ※ ARMベースのWindows® PCでは動作いたしません。
CPU	Intel® Core™ i5 1.6GHz以上 推奨：Intel® Core™ i5 第7世代以降（モバイル向けを除く）	Intel® Core™ i5 1.6GHz以上 第6世代以降 推奨：Intel® Core™ i7 3.2GHz以上 第8世代以降（モバイル向けを除く）
ディスプレイ	解像度　1024×768（XGA、4:3）以上 推奨：解像度　1366×768（フルワイドXGA、16:9）以上 推奨：ディスプレイサイズ　15.6インチ以上	
ディスク容量	プログラムのインストールに必要な容量：500MB以上 ※ ユーザー資産として、1帳票種のOCR定義（項目定義）あたり最大1GB必要です。	プログラムのインストールに必要な容量：3GB以上
メモリ容量 ※7	2GB以上 推奨：4GB以上	8GB以上 推奨：12GB以上
スキャナー ※3	イメージスキャナー「fiシリーズ」 fi-7900、fi-7800、fi-7700、fi-7700S（ADF片面）、fi-7600、fi-7480、fi-7460、fi-8290、fi-8190、fi-8270、fi-8170、fi-8250、fi-8150、fi-800R、fi-8040、fi-7030、SP-1425、fi-7300NX、fi-5950、fi-6800、fi-6400、fi-7280、fi-7260、fi-7180、fi-7160	
必須ソフトウェア	・Visual Studio 2017のMicrosoft Visual C++ 再頒布可能パッケージ ※4 ・Microsoft .NET Framework 4.7.1以降 ※4 ・RICOH Scanner Control Runtime V2.2L96以降 ※2 ※4 ・PaperStream IP(TWAIN) ※3	
仮想環境	サポートします ※5 ※6	

©PFU Limited 2023

動作環境（帳票OCR Entry、AI日本語手書きOCRオプション）

※1：64ビット版ではWOW64サブシステム(Windows 32-bit On Windows 64-bit)上で、32ビットアプリケーションとして動作します。
※2：エントリーアプリケーションのPDFファイルの入出力機能は、64ビット版OSのみサポートとなります。
※3：スキャナーから直接取り込みを行う場合に必要となります。
※4：インストール環境にモジュールが導入されていない場合、インストーラがインストールを行います。
※5：仮想環境が物理ハードウェア環境と互換性のある機能を提供している範囲で動作可能です。
　　このため、例えば仮想環境自身の動作保障ハード環境などの制限により、動作不可となる場合があります。
※6：仮想環境でのスキャナー入力はサポートしていません。
※7：Windows® 11は、メモリ4GB以上が必要です。
※8：本製品をインストールした状態で、OSのアップグレードインストールには対応しておりません。OSをアップグレードする場合は、本製品をいったんアンインストールしてから、
　　アップグレード後のOSに再インストールしてください。
※9：「AI日本語手書きOCRオプション」のV10.0L31以前のインストールCDでは、Windows® 11にインストールすることができません。
　　お手持ちのインストールCDが、V10.0L31以前の場合には、DynaEye 10 サポートサービスにて最新のセットアッププログラムをお申込みください。
　　※お申し込みいただけるのはサポート登録済みの方のみとさせていただきます。
　　最新の情報は右記URLをご参照ください：https://www.pfu.ricoh.com/dynaeye/topic/windows11.html

©PFU Limited 2023

仕様一覧（帳票OCR Entry）

○：対応　—：未対応

分類	項目	説明	DynaEye 10 帳票OCR Entry	
			標準アプリケーション	エントリーアプリケーション
導入	テンプレート	インストール後すぐに利用できるテンプレート3種の提供	—	○
入力	ファイル形式	イメージ：TIFF, JPEG ※1	○	○
		イメージ：Bitmap(非圧縮)	—	○
		PDF	○ ※10	○ ※9
	入力方法	ファイル	○	○
		スキャナー(fiシリーズ) ※2	○	○
	起動方法	コマンド起動 ※3	○	—
	スキャン方法	アプリ画面からの簡易設定	○	○
		PaperStream IPのプロファイルを指定	○	○
		TWAIN(PaperStream IP)画面の呼び出し	○	—
	画像補正	網掛け除去、白抜き文字反転、印影除去、地紋除去	—	○
認識	定義形式	定義(レイアウト定義) ※4	○	—
		準定型(項目定義) ※5	—	○
認識補正	辞書	住所辞書	○	○
		氏名辞書	○	○
		個人辞書	○	—
確認/修正	画面	レイアウト変更	○	○
		項目イメージ／認識結果を並べて表示	○	○
	進捗表示	タスク単位	○	○
		ページ単位	○	○
	誤り表示	項目単位	—	○
	修正支援	項目形式チェック	○	○
		フォーマット変換(年月日、金額等)	○	○
		データチェック(明細行合計チェック)	○	○

○：対応　—：未対応

分類	項目	説明	DynaEye 10 帳票OCR Entry	
			標準アプリケーション	エントリーアプリケーション
出力	イメージファイル形式	TIFF, JPEG, Bitmap	○	○ ※6
		PNG	○	—
		PDF	○	○ ※9
	データファイル形式	CSV	○	○
		TEXT	○	—
		MDB	○	—
	CSVカスタマイズ	ファイル分割、出力対象絞り込み、制御コード(明細行の開始／終了位置)付加	—	○
	外部連携	アプリケーション起動(コマンド起動)	○	○
帳票定義	方式	準定型の定義	—	○
		定型の定義	○	—
	辞書作成	個人辞書の作成	○	—
適用	同時修正	複数人での同一帳票の修正	○	— ※7
	帳票識別	レイアウトによる定義の自動選択	○	— ※8
	学習	認識誤りのあったレイアウトを学習し、次回認識	—	○
		学習モード（学習あり／なし）	—	○
保守機能	定義追加/修正	定型定義の作成／修正	○	—
		項目定義の作成／修正	—	○
	資源移出入	プロファイルのインポート／エクスポート	—	○
		定型定義のインポート	○	—
		項目定義のインポート	—	○
		項目定義のエクスポート(学習データあり／なし)	—	○
		学習データ数、上限値の確認	—	○
		学習データ削除	—	○
		類似帳票を別帳票として学習	—	○

©PFU Limited 2023

仕様一覧（帳票OCR Entry）

※1：解像度等、取り込める画像形式はSDKの仕様に準ずる。

※2：販売中の以下の機種(RICOH Scanner Control SDKがサポートしている機種)をサポート。

fi-7900、fi-7800、fi-7700、fi-7700S（ADF片面）、fi-7600、fi-7480、fi-7460、fi-8290、fi-8190、fi-8270、fi-8170、fi-8250、fi-8150、fi-800R、fi-8040、fi-7030、SP-1425、fi-7300NX、fi-5950、fi-6800、fi-6400、fi-7280、fi-7260、fi-7180、fi-7160

＊ N7100Eはソフトが対応していないため、未サポート

＊ 今版は保守フェーズのモデルはサポート対象外（要望があれば、商談規模に応じて個別にサポートする方針）

＊ 今後出荷されるスキャナーについては順次サポート

※3：スキャナーボタン、RPAツールからの起動を想定。

※4：認識可能な項目、指定できる属性値等はSDKの書式認識ライブラリ/コンポーネントキットの仕様に準ずる。

※5：認識可能な項目、指定できる属性値等はSDKの準定型認識ライブラリの仕様に準ずる。

※6：入力時のファイル形式で出力する。

※7：アプリケーションの仕様／使わせ方が違うため、不要。

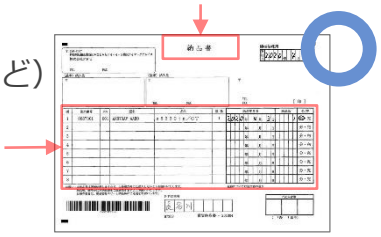
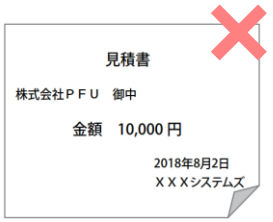
※8：ワークフロー等、本アプリの上位機能であり、他製品との組み合わせ提案の可否を今後検討。

※9：エントリーアプリケーションのPDFファイルの入出力機能は、64ビット版OSのみサポートとなります。

※10：ラスタ形式のみサポート。また、カラーとモノクロが混在しているマルチページPDFは入力不可。

©PFU Limited 2023

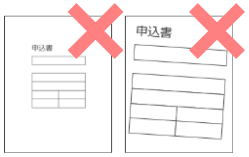
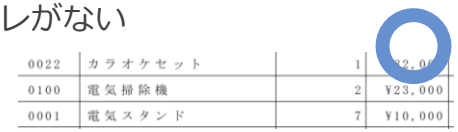
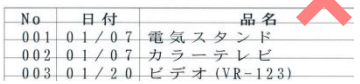
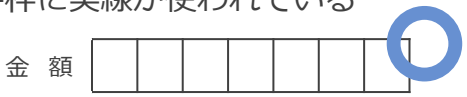
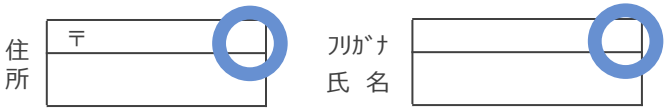
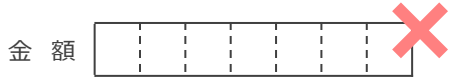
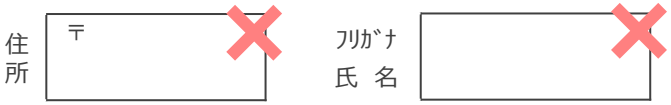
DynaEyeに適した帳票／適さない帳票例（1）

	O K	N G
帳票レイアウト	• 定型帳票（レイアウトが一定で、読取る項目の位置が固定である帳票） 	• 多数のレイアウトが存在する帳票 • データによって明細のレイアウトが異なる／小計や合計の位置が異なる／行の高さが異なる 等 
罫線	• 罫線や特徴的な印刷（大きな活字、ロゴなど）が含まれる 	• 罫線がなく、文字だけ • 特徴的な印刷がない 
印刷 地紋・網掛け	• 黒または黒に近い濃い色で印刷されている • 地紋や網掛けが無い	• 淡い色で印刷されている • 地紋や濃い網掛けがある 

※ 詳細は各アプリケーションの運用管理ガイドをご参照ください。

©PFU Limited 2023

DynaEyeに適した帳票／適さない帳票例（2）

	O K	N G
印刷品質	• 印刷の品質が良い • 傾きや伸縮が小さい （傾き左右5°以内、伸縮誤差±10%まで） • 罫線のかすれがない	• 帳票の傾き、伸縮、罫線のかすれ、文字のかすれ、潰れが顕著な帳票 例：FAX、コピー帳票 等 
記入・印字	• 記入や印字にズレがない • 文字色は黒色 	• 記入や印字にズレがあり罫線と文字が接触 • 文字色が黒以外 例：複写伝票（2枚目）等 
文字枠	• 文字枠に実線が使われている  • 項目ごとに記入枠が分かれている  • 文字枠サイズ・余白が仕様を満たしている 手書きANKS:高さ5㎜ x 幅4㎜以上/手書き日本語:高さ7㎜ x 幅7㎜以上/ 活字ANKS:印字文字の高さ+上下2㎜以上/活字日本語:高さ3.53㎜以上/ マーク(枠内):高さ4㎜ x 幅4㎜以上/マーク(上書き):文字に対して左右+1文字分	• 文字枠に破線が使われている  • 項目ごとに記入枠が分かれていない  • 文字枠サイズ・余白が仕様を満たしていない • 氏名フリガナが「ひらがな」で記入される

※ 詳細は各アプリケーションの運用管理ガイドをご参照ください。

©PFU Limited 2023

（付録）

DynaEye 10 帳票OCR Entry V10.0L30/L31 レベルアップ情報

©PFU Limited 2023

エンハンス内容

標準 アプリケーション 標準アプリ	1. 認識＆確認修正 機能の改善	2. フォルダ指定 取り込みに対応	3. 読取りイメージ ファイル名の出力 に対応
AI日本語手書き OCRオプション 標準アプリ	1. 認識精度向上	2. 数字項目に対応	
サポート環境 標準アプリ エントリーアプリ	1. 仮想環境での動作 をサポート		

©PFU Limited 2023

エンハンス内容

標準
アプリケーション

標準アプリ

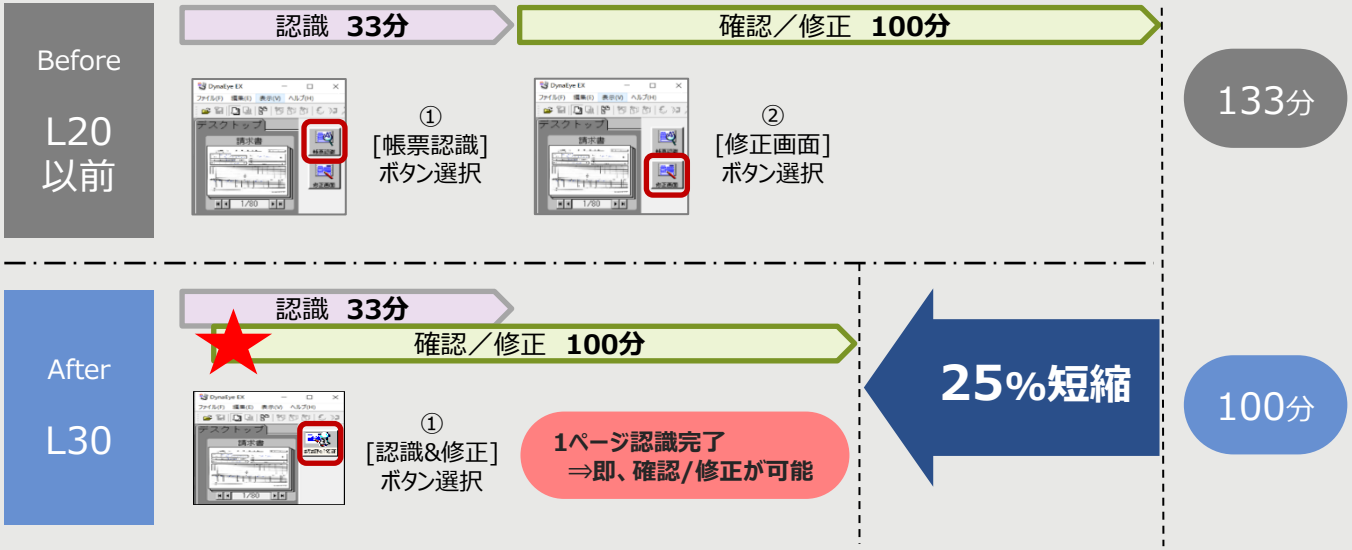
1.
認識＆確認修正
機能の改善

2.
フォルダ指定
取り込みに対応

3.
読取りイメージ
ファイル名の出力
に対応

帳票認識と修正画面での確認/修正を並行して行えるようになりました。
認識完了したページから順次、確認/修正を行えるため、作業時間を短縮できます。

<帳票 100枚を処理する業務を想定した場合> ※:当社調べによるものです。



©PFU Limited 2023

エンハンス内容

標準
アプリケーション

標準アプリ

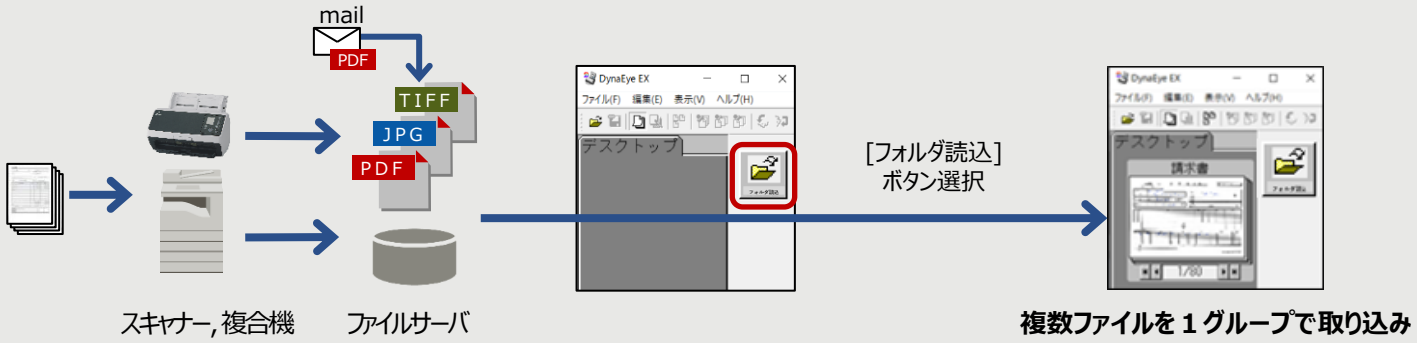
1.
認識＆確認修正
機能の改善

2.
フォルダ指定
取り込みに対応

3.
読取りイメージ
ファイル名の出力
に対応

あらかじめ設定したフォルダからイメージファイルを一括して取り込めるようになりました。

スキャナー等から取り込んだ帳票画像を特定のフォルダに格納した後、フォルダ内の全てのイメージファイルをワンクリックで取り込めるため、作業時間を短縮できます。



©PFU Limited 2023

エンハンス内容

標準
アプリケーション

標準アプリ

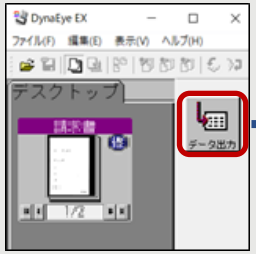
1.
認識＆確認修正
機能の改善

2.
フォルダ指定
取り込みに対応

3.
読取りイメージ
ファイル名の出力
に対応

認識結果の出力時、イメージのファイルパスとページ番号を出力できるようになりました。

出力した認識データからイメージファイルのパスとページ番号をたどれるので、エントリー業務を柔軟に構築できます。



[データ出力]
ボタン選択

<認識結果データ>

"石川県かほく市", ～, "C:¥data¥image.pdf", "00001"
"神奈川県横浜市", ～, "C:¥data¥image.pdf", "00002"

©PFU Limited 2023

エンハンス内容

AI日本語手書き
OCRオプション

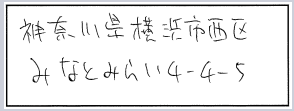
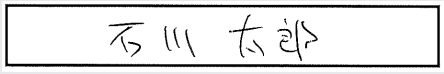
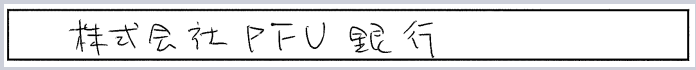
標準アプリ

1.
認識精度向上

2.
数字項目に対応

AI-OCR「Zinrai」の最新版に入れ替えと追加学習を行いました。

これにより、**1文字1文字の文字枠がない領域（フリーピッチ）に記入された住所や氏名などの手書き文字の認識精度を向上しました。**

項目		認識率
住　所		UP！ 99.3%
氏　名		UP！ 97.3%
会社名		UP！ 97.8%

※ 認識率は、バージョン V10.0.L20 との比較結果です。

※ 「AI日本語手書きOCRオプション」は、DynaEye 10 帳票OCR Entry 「標準アプリケーション」 でご利用いただけます。

©PFU Limited 2023

エンハンス内容

AI日本語手書き
OCRオプション

標準アプリ

1.
認識精度向上

2.
数字項目に対応

従来の日本語項目に追加して、**数字項目に対応しました。**

1文字1文字の文字枠がない領域（フリーピッチ）へ、自由に記入された金額、電話番号、郵便番号の数字について、高精度な文字認識ができるようになりました。

項目		認識率
New! 金　　額	¥94,054,221	98.5%
New! 電話番号	045-305-6000	98.6%
New! 郵便番号	600-8961	98.7%

※ 「AI日本語手書きOCRオプション」は、DynaEye 10 帳票OCR Entry 「標準アプリケーション」 でご利用いただけます。

©PFU Limited 2023

エンハンス内容

サポート環境

1.
仮想環境での動作
をサポート

標準アプリ　エントリーアプリ

仮想環境（VDI）での動作に対応しました。

※　仮想環境が物理ハードウェア環境と互換性のある機能を提供している範囲で動作可能です。
このため、例えば仮想環境自身の動作保証ハード環境などの制限により、動作不可となる
場合があります。

※　仮想環境でのスキャナー入力はサポートしていません。（フォルダからのファイル読込みが可能です）

©PFU Limited 2023